

「わたしの主張」村上岩船地区大会 優秀賞！

8月17日（土）、「わたしの主張」村上岩船地区大会が村上教育情報センターで行われました。平林中学校からは、3年生の野澤美優紀さんが出場し、優秀賞を受賞しました。野澤さんは、夏休み中も主張文発表のリハーサルを繰り返し行い、たいへん頑張っていました。野澤さんの原稿を掲載しましたのでお読み下さい。

先生は「敵」ですか、「味方」ですか

平林中学校3年 野澤美優紀

私たち中学生にとって、学校で毎日のように顔を合わせる先生方。その先生方は、みなさんにとってどんな存在でしょうか。「どんな存在かなんて、特に考えたことはない。」という人や「勉強や部活を教えてくれる人でしょ。」と答える人が多いかもしれません。

しかし世間では、先生方をまるで「敵」のように捉えている人も多いと聞きます。中にはインターネットの掲示板やツイッターなどで、先生に対する悪口をすさまじい言葉で載せている中学生もいるということを、私はついこの前知りました。特定の先生に対し、「ウザイ」「ムカツク」などの言葉で攻撃しているという現実には、私はとても驚き、信じられない思いでした。

私は学校生活を共にしている先生方を、「敵」とか「味方」とかそういう利害関係で受け止めたことはありません。私にとって先生方は、いわば「家族」のような存在です。「先生」という名の他人ではなく、心のどこかが強くつながっている「家族」です。確かに先生方は、本物の家族のように毎日一緒に食卓を囲んだり、同じ家の中で過ごすということはありません。人生の中で一緒に過ごす時間も短く、限られています。ですが、それでも私は、先生方のことを家族のような特別な存在だと感じます。「家族」だと感じるのは、先生方が私たちのことを心から大事に思っていてくれる。それを実感できるからです。

それはたぶん、言葉だけでは伝わらない種類のものです。誰かが休んだときに心から心配している様子や、嬉しいことがあったとき、一緒に喜んでくれる姿や、間違っただけを口にした場面で叱ってくれる本気さや、そんなオーラのようなものが、私たちの気持ちにしみこんでくる。そんな気がします。

少し前に、名古屋でいじめによる中学生の自殺がありました。先生はその新聞を切り抜いてきて私たちに語りかけました。「いなくなっている子なんか、1人もいないんだよ。」と言いながら泣いていました。教室の中がシーンとなりました。ここは学校だけど、やっぱりみんなが「家族」だな。私はそう感じました。

また6月に来られた教育実習の先生が、最後の挨拶で全校生徒に話してくれた内容も、

私にとって印象的でした。それはこのような言葉です。「教育実習の中で1番感動したことは、先生方が生徒のことを本当に大事にしているということです。私は自分が中学生の時、先生方がこんなにも生徒1人1人のことを思っていてくれることに気がついていませんでした。」卒業生でもあるこの教育実習の先生の言葉は、とても説得力をもって私の心に響きました。

私たち中学生にとって、本物の家族以外で喜びや悲しみを一緒に分かち合える大人はそんなに多くはないと思います。そう考えると、自然と先生の存在の大きさに気づかされず、自分たちにとって大事な存在に気づかない。それは寂しく残念なことです。ネットの掲示板に悪口を書く前に、先生方の思いに気づこうとしてください。人間と人間の関係は一方通行では成り立ちません。心をひらいて信頼すれば、きっと信頼が返ってきます。それは友達同士の関係も、先生と生徒の関係も同じではないでしょうか。

私たち3年生は、卒業まであと半年あまりとなりました。「家族」のような先生方と一緒に過ごせる時間も、残り少なくなってきました。1日1日を大切に、そして先生と生徒の間にあるすてきな関係をさらに深めたいと思っています。

1 学期の学校評価について

学校評価は、子どもたちがより良い教育を受けられるよう、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。平林中学校では年間2回、生徒、保護者、地域の皆様、教職員からのアンケートをもとに全職員で教育活動を見直しております。また、集計結果は、学校評議員会でも協議し御意見をいただき、さらなる教育活動の向上に役立てております。この度、学校評価結果がまとまりましたのでお伝えします。

お忙しい中、アンケートにご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

なお、平成25年度の学校評議員は次の方々です。どうかよろしく願いいたします。

遠山千賀子様（主任児童委員）、小野 篤様（平林区長）、瀬賀民男様（学校支援地域本部事業会長）、田中章穂様（前PTA会長）、小田美穂子様（現PTA会長）

1 学期の学校評価について分析と今後の取組

◆◆◆『学習指導』～1学期を振り返って 今後の取組～◆◆◆

【分析と今後の取組】

- ・授業はほとんどの生徒が分かりやすいと感じています。1年生のAの数値がやや低いのは、中学校の勉強に対して難しさを感じているのかもしれませんが、2学期以降も「分かりやすい授業づくり」を心がけていきます。
- ・家庭学習の時間が増えたと回答した生徒は、全学年で半数以上でした。しかし各学年40%近くの生徒が減少したと答えていることが気になります。各教科で宿題を課したり、自学の取組を強化させたりしていく手立てが必要です。
- ・朝読書の取組は全学年ともよいが、1年生で集中していない生徒の割合が高めです。「みんなで取り組む」雰囲気を作り、有意義な時間であることを感じさせていくことで、充実感を図りたいと思います。

- ・3年生は部活動引退後の勉強への切り換えをレールに乗せられるような支援を、また1・2年生は各教科で宿題を課したり、自学の取組を強化したりするような支援をしていく必要があると考えています。
- ・総合学習は各学年で、計画・実践・振り返り等、とても綿密に行っています。体験学習については、取組も大変良く、今後も前年度のワークシートなどを参考にして、より深まりのある学習を目指したいと思います。

【研究主任 石川 淳子教諭】

◆◆◆『生徒指導』～1学期を振り返って 今後の取組～◆◆◆

【分析と今後の取組】

- ・生徒評価については、全体的に肯定的な評価（AとB）が非常に高い数値を示しています。生徒たちが前向きな気持ちでいきいきと学校生活を過ごしている様子が数値から伝わってきます。しかし、課題がないわけではなく、昨年度末と比較してみると、わずかながら数値が下がっている項目があります。「平中生であることを誇りに思う」（昨年度末A評価が72%→今回66%）や、「挨拶や返事をしている」（昨年度末A評価が76%→今回70%）などです。生徒全体に、気持ちの面で意欲やエネルギーが不足しないよう、所属感や自己有用感を育てる支援や指導を大事にしていきたいと考えています。
- ・「学校に友だちがいる」では、A評価が非常に高い数値を示している反面、CやDだと感じている生徒が現実にいるという事実をしっかりと受け止める必要があります。今後ますます一人一人の生徒を大切にしたい生徒指導が求められており、よりきめ細かな対応を考えていきます。
- ・「命の大切さ」や「社会ルール」「思いやりの心」などについては、毎日の学校生活の中に大切な指導の場面があるはずですので、教師側の感性や指導力を磨きながら、ここぞという場面を逃さず、適切な指導をしていく必要があるととらえております。
- ・「人に思いやりをもって接している」の項目については、昨年度末に比べて数値が上がっている（昨年度末A評価56%→今回61%）、生徒の優しさや思いやりは確実に深まっていると判断できます。今後もさらに思いやりあふれる生徒集団の育成をめざしていきます。

【生徒指導主事 小間屋 直子教諭】

◆◆◆『特別活動』～1学期を振り返って 今後の取組～◆◆◆

【分析と今後の取組】

- ・生徒評価については、8割以上の生徒が肯定的な評価をしています。「全校朝会や行事で校歌を歌っている」という項目では、84%もの生徒がA評価です。中学生の時期にこれだけの人数がしっかりと校歌を歌えていることに、平林中学校の生徒としての誇りを感じることができます。また、「学校行事に熱心に取り組んでいる」、のAの評価が74%と高い数値を示しています。行事に教師が率先して取り組み、学校全体で、この数値を維持していけるように特別活動で工夫した取組を生徒とともに考えていきます。

- ・生徒評価の「委員会活動や係活動に、責任をもって取り組んでいる」の項目の否定的な評価（C，D）が合わせて2％でした。去年の同じような項目でC、Dの評価が合わせて10％であったことから考えると、委員会活動と係活動に目的意識を持つことのできた生徒が増えたと考えることができます。
- ・生徒評価の「学校に打ち込めるものや夢中になるものがある」の項目の否定的な評価（C，D）が合わせて16％です。例年、3年生が部活を引退した直後なので、この項目は3年生が良くならないのですが、今年度のC、D評価は、3年生が14％、2年生が4％、1年生が27％となっており、1年生の否定的な意見が目立ちました。今後の部活動や、学校行事において、1年生の役割を明確にし、やりがいを与える必要性を感じています。

【特別活動主任 古澤 徹教諭】

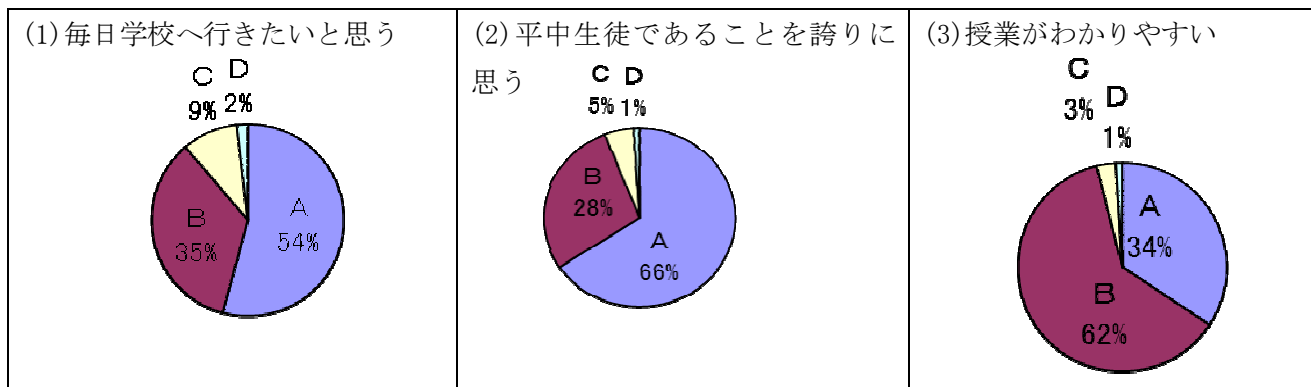
◆◆◆『健康教育』～1学期を振り返って 今後の取組～◆◆◆

【分析と今後の取組】

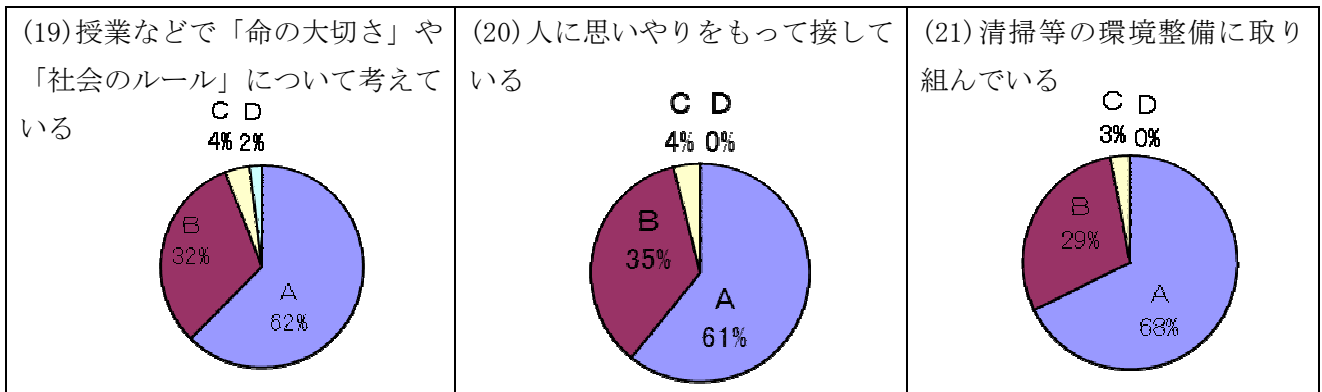
- ・朝食を食べてくる生徒がAとBで95％、学校に友だちがいるAとBで95％、体育やスポーツに熱心に取り組んでいるがAとBで90％と心身ともに健康で安定している状態であると言えます。この状態を堅持していけるように保健だよりなどを通して広報を広げていきます。
- ・保護者評価では、朝食についてはAとBで96％と良い状態です。今後とも家庭と連携しながら、生徒が朝食を食べて登校するよう働きかけていきたいと思えます。
- ・あいさつ、早寝・早起き等については、保護者評価ではAとBで81％と必ずしも基本的生活習慣が身に付いているとは言えないととらえました。基本的生活習慣の実態を知らせ生徒が健康な生活を送ることができるよう改善に向けた指導や広報活動に取り組んでいきたいと思えます。
- ・食育指導は2学期以降、栄養職員と協力し実践していこうと計画しています。
- ・食育指導や基本的生活習慣について実態を知らせ改善に向けて学級指導や広報活動に取り組んでいきます。

【保健主事 伊藤 幸恵養護教諭】

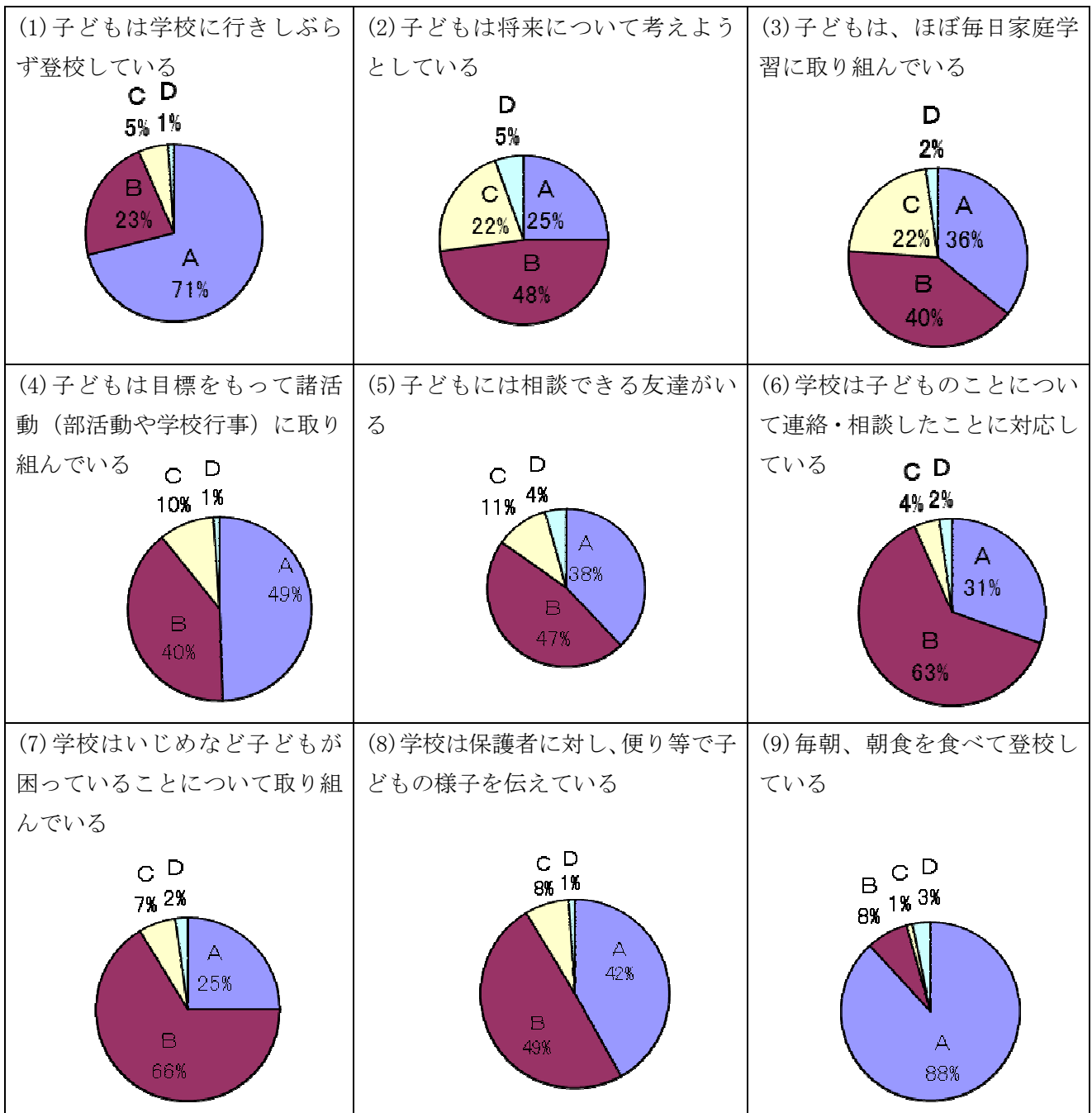
【生徒のアンケート結果より】（A：そう思う、B：おおむねそう思う、C：あまり思わない、D：思わない）

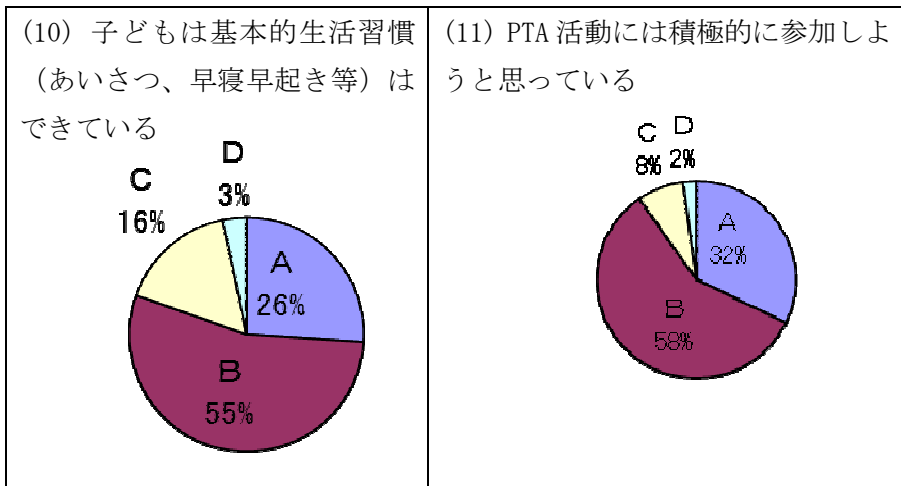


<p>(4) 家庭学習に取り組む時間が増えている</p> <p>A 18% B 44% C 31% D 7%</p>	<p>(5) 集中して朝読書に取り組んでいる</p> <p>A 70% B 23% C 7% D 0%</p>	<p>(6) 学級の雰囲気が良く授業に集中できる</p> <p>A 49% B 48% C 2% D 1%</p>
<p>(7) 挨拶や返事をしている</p> <p>A 70% B 27% C 3% D 0%</p>	<p>(8) 全校朝会や行事で校歌を歌っている</p> <p>A 84% B 14% C 0% D 2%</p>	<p>(9) 将来について考えようとしている</p> <p>A 48% B 38% C 10% D 4%</p>
<p>(10) 総合学習でインターネットや図書、その他資料を活用する力や人と係わる力がついてきている</p> <p>A 38% B 47% C 13% D 2%</p>	<p>(11) 駅伝・マラソン大会、体育祭や文化祭などの学校行事に熱心に取り組んでいる</p> <p>A 74% B 21% C 3% D 2%</p>	<p>(12) 委員会活動や係活動に責任をもって取り組んでいる</p> <p>A 67% B 31% C 2% D 0%</p>
<p>(13) 学校に打ち込めるものや夢中になるものがある</p> <p>A 53% B 31% C 11% D 5%</p>	<p>(14) 体育やスポーツに熱心に取り組んでいる</p> <p>A 66% B 24% C 7% D 3%</p>	<p>(15) 朝食を毎日食べて登校している</p> <p>A 91% B 4% C 3% D 2%</p>
<p>(16) 学校に友だちがいる</p> <p>A 86% B 9% C 3% D 2%</p>	<p>(17) 先生はいじめなど私たちが困っていることについてよく取り組んでくれる</p> <p>A 65% B 26% C 7% D 2%</p>	<p>(18) 困った時に相談できる先生がいる</p> <p>A 54% B 29% C 12% D 5%</p>



【保護者のアンケート結果より】(A:そう思う、B:おおそねそう思う、C:あまり思わない、D:思わない)



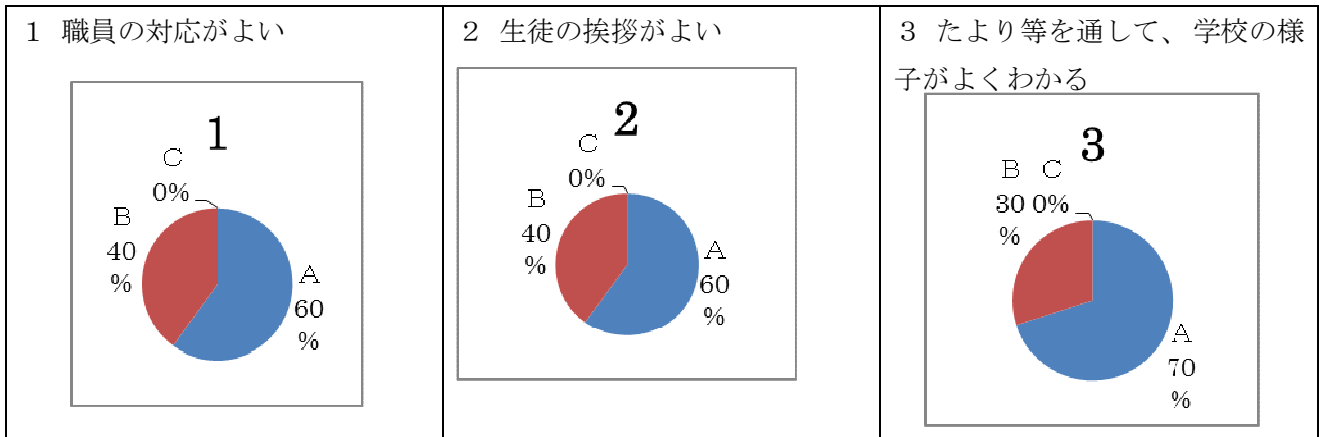


御意見等(一部抜粋)【○良い点、 □ご意見】

- マラソン大会では、5キロを完走できるか心配でしたが、みんな一生懸命走っている姿に感動し、我が子も完走して、嬉しくなりました。よい大会でした。
- 1年生の村上巡検は、雨で大変だったようですが、良い経験になったと思います。クラスの絆が深まったと思います。
- オープンスクールが2日間あり、仕事の時間調整がしやすかったです。
- 部活動、陸上での、郡市、下越各大会出場など、運動面で頑張っている姿が大変良かったと思います。
- 修学旅行がよほど楽しかったらしく、今でも時々話してくれます。楽しい思い出をありがとうございました。
- 修学旅行は、準備も含めて、本当に楽しかったんだなあと感じます。先生方は、とても大変だったと思いますが、そのお陰で、忘れられない良い経験、思い出ができました。ありがとうございました。
- 激励会を初めて見させてもらいました。応援団の、力のこもった応援に感激しました。
- 激励会で、我が子が頑張っている姿を見ることができ、よかったです。
- 陸上部が、特設でしかないのがもったいないと思います。我が子の他にも、陸上をやりたいと思っている子もいると思います。直前になって、短期集中もいいのかもしれませんが、他校との差がかなりあるので、不利だと思います。伸ばしてあげられる素質のある子には、可哀相なのではないでしょうか。
- 部活が終わったことや、思春期、ということもあり、受験に対する不安や精神的な面でも変化があると思います。家庭内での話し合いや、子どもの様子を見て見守ることが1番だとは思いますが、学校でも子ども達の様子を気にかけてもらい、時にはアドバイスしてもらいたいと思います。
- テスト前の質問教室の日にちを増やしていただきたいです。1日だけでは足りない様子でした。

皆様から寄せられたご意見につきましては、今後の教育活動の中で参考にさせていただきます。なお、部活動は生徒数の減少、職員数の減少により新しく部を創設することは困難な状況にあります。ご了承いただきますようお願いいたします。

【学校関係者評価】（A：そう思う、B：おおむねそう思う、C：あまり思わない、D：思わない）



御意見等(一部抜粋)【○良い点、▽改善点、□ご意見】

- 今年の2年生は素直で、学校田の田植えがスムーズに実施できました。
- 少人数の生徒達がよく頑張っています。先生方の指導に感謝しております。
- 自転車通学の生徒に、交通ルールを守ってもらいたいです。
(一時停止の徹底、並進禁止、など)
- 自転車通学の際、右側を通行、又は2人で並列している姿も見られます。危険を感じました。

自転車の通行に関しましては、これまでも指導して参りました。今後も交通法規の遵守について、繰り返し指導をする中で交通安全の維持に努めていきたいと思っております。ありがとうございました。

今月の「頑張りました！」

漢字検定合格者	
2級	野澤 晋作 (3-2)
準2級	小田 ゆな (3-1)、遠山 愛未 (3-1)
3級	野澤美優紀 (3-1)、高野 朔弥 (3-2)、東 里帆 (3-2)、佐藤 優美 (3-2)、関 優太 (2-1)
4級	石田 健策 (2-1)、加藤和由季 (2-1)、川崎 航介 (2-1)、田島 隆斗 (2-1)、三須 百香 (2-1)、五十嵐万結 (1-1)、佐藤 未悠 (1-1)、山口 未優 (1-1)
5級	小池 優香 (3-1)、岸 浩史 (1-1)、川村 龍弥 (1-1)、石田那々美 (1-1)、佐藤 百愛 (1-1)、田中 咲希 (1-1)、田村 美悠 (1-1)、遠山 優未 (1-1)、奈良橋美唯菜 (1-1)

数学検定合格者	
3級	田村 秀人 (3-1)、浅野 侑 (3-2)、石田 佳大 (3-2)、木村 皓太 (3-2)、佐藤 希美 (3-2)、野澤 晋作 (3-2)
4級	川崎 航介 (2-1)、
5級	加藤和由季 (2-1)、阿部 達也 (1-1)、山口 未優 (1-1)